

浜岡5号機 湿分分離器ドレンタンク(A-1)水位検出配管での異物発見・回収について(続報)

平成18年3月6日

◆本日お知らせする内容

対策および 水平展開	<p>製作段階にゴム製ホースを同様に使用した類似箇所として以下の機器があり、これらについて内部の目視点検を行い、異物がないことを確認しました。</p> <ul style="list-style-type: none">・湿分分離器ドレンタンク(A-1)・湿分分離器ドレンタンク(A-2)・湿分分離器ドレンタンク(B-1)・湿分分離器ドレンタンク(B-2)・湿分分離加熱器(A)・湿分分離加熱器(B) <p>また、製造段階における異物侵入防止の徹底をメーカーに指導しました。</p>
---------------	--

◆これまでにお知らせした内容

(平成18年2月1日お知らせ済み)

発生号機	5号機(定期点検中) : 改良型沸騰水型、定格電気出力138万キロワット
発生日	平成18年1月31日
発生時の状況	<p>第1回定期点検中の5号機において、1月31日午後5時45分頃、開放点検中の湿分分離器ドレンタンク(※)(A-1)水位検出配管3本のうち2本の配管からゴム製ホースの切れ端をそれぞれ1個ずつ発見し、回収しました。</p> <p>なお、異物の形状および混入状況から水位検出配管は閉塞されることなく、当該タンクの水位検出機能に問題はありませんでした。 本事象による外部への放射能の影響はありません。</p>
原因	調査の結果、異物は、工場での製作段階で洗浄を行った際、配管内面のネジ山を保護するために使用されたものであることがわかりました。
対策および 今後の対応	製作段階にゴム製ホースを同様に使用した類似箇所について点検を してまいります。
お知らせ基準	運転情報「表2-8」に該当します。

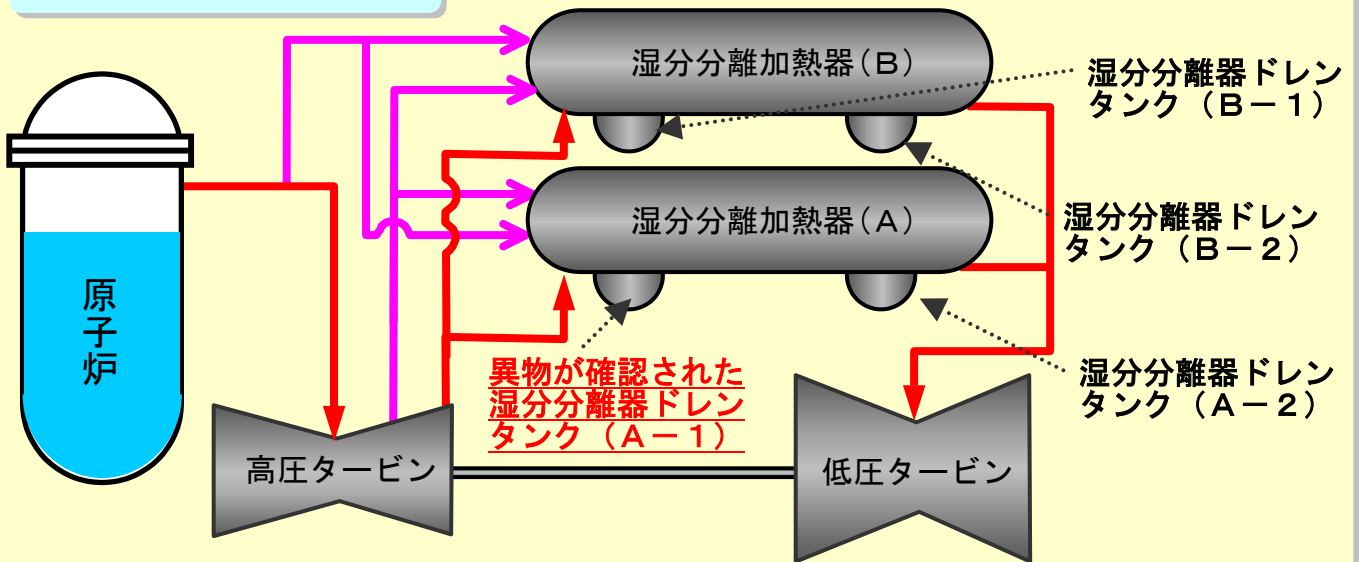
※ 湿分分離器ドレンタンクとは、湿分分離加熱器内部での熱交換により、蒸気中より分離された湿分が溜まるタンクです。

湿分分離加熱器とは、高圧タービンからの排気に含まれる湿分を除去するとともに、プラント熱効率を高めるため低圧タービンへの蒸気を加熱するための機器をいいます。

5号機には2台設置されています。

以上

系統概要図

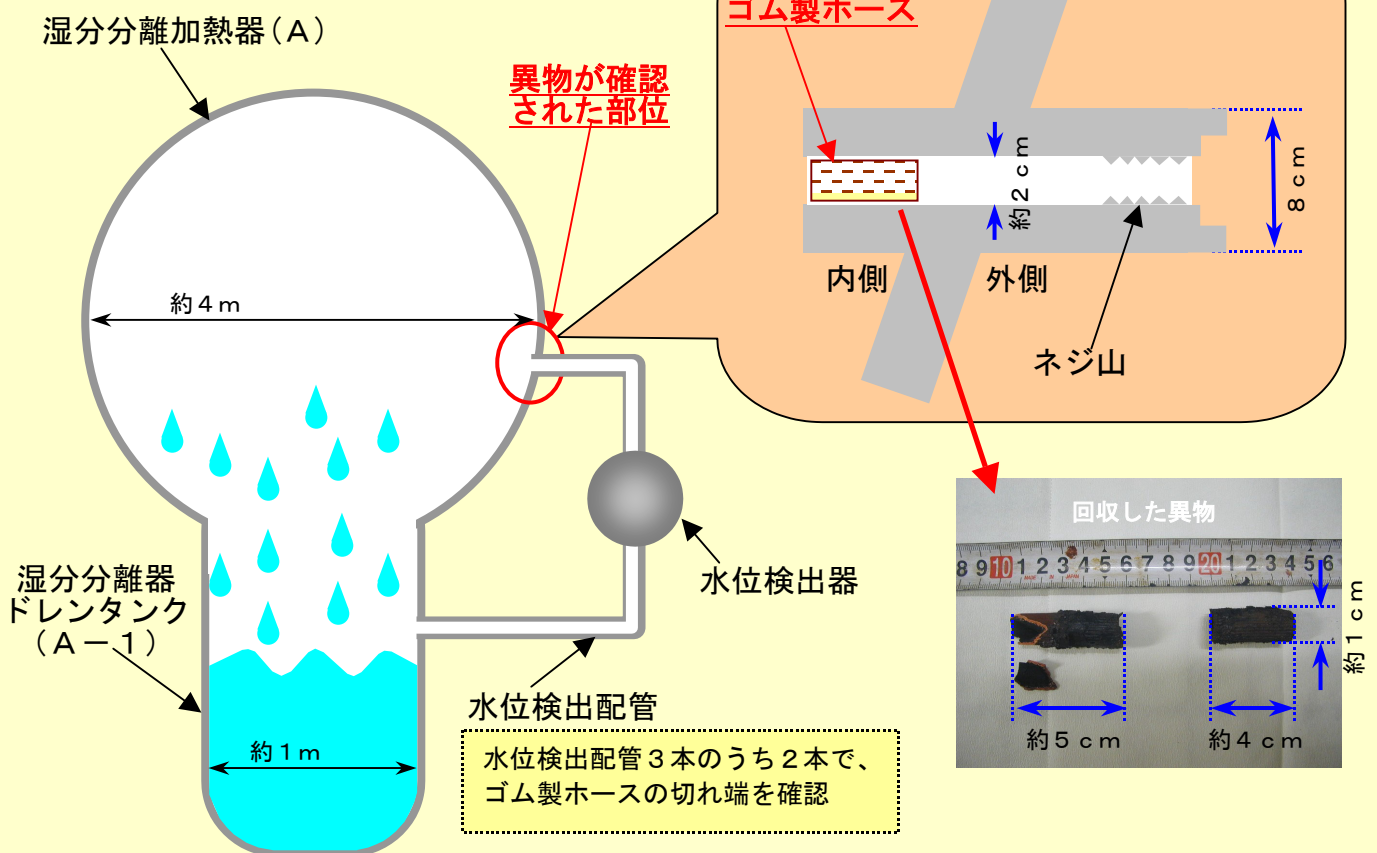


- : 主蒸気
- : 主蒸気加熱用蒸気 (主蒸気の抽気)

<湿分分離加熱器>

高圧タービンからの排気に含まれる湿分を除去するとともに、プラント熱効率を高めるため低圧タービンへの蒸気を加熱するための機器。5号機には2台設置されている。

湿分分離加熱器断面図



<湿分分離器ドレンタンク>

湿分分離加熱器内部での熱交換により、蒸気中より分離された湿分が、下部のドレンタンクに溜まります。